

子どもの広場



【森の学校】

6月7、8日に、4年生にとって、初めての宿泊を伴う行事「森の学校」がありました。

1日目は、快晴の下、心地よい風を感じたり鳥のさえずりを聞いたりしながら、氷ノ山山頂まで登山をしました。「森の集い」では、キャンドルの静かに揺れる炎を見つめながら友情を確かめ合ったり、「響の森」の方に貴重な動植物のお話を聞いたりして、思い出深い一時を過ごしました。



2日目、「響の森」で創作活動や施設見学を楽しみました。お昼は野外炊さん。苦労して炊いた飯盒のご飯と協力して作ったカレーは、格別の味だったようです。この「森の学校」で学んだことを活かし、今後も互いに手を取り合い、協力し合ってさらに成長してくれるものと思います。



【防災訓練】

6月13日、火災を想定した避難訓練を行いました。子どもたちは、ハンカチで口を押さえながら「お・は・し・も」を合い言葉に真剣に避難することができました。そして、湖山消防署の消防士さんに避難の仕方や火事の恐ろしさについてのお話を聞いた後、

教職員による放水訓練の様子を見学しました。「自分の命は自分で守る」という意識が高まった避難訓練になりました。



【むし歯予防】

全国歯の衛生週間にちなんで、本校では6月に歯のキャンペーン月間を設定しています。健康委員会では、歯についての豆知識を掲示したり、歯の標語やキャラクターなどを募集したりと、歯への関心を高める活動をしました。

また、本年度も5年生を対象に、学校歯科医大草先生のご協力のもと、歯科衛生士さんにも来校していただき、歯肉炎と歯石をテーマに学習を深めました。歯肉の健康状態を観察するときのポイントを学び、歯肉炎にならないための歯磨きのテクニックやデンタルフロスの使い方について、個別に指導していただきました。子どもたちは自分の歯肉の状態をじっくりと観察し、わからないことを積極的に質問するなど、自分の健康を考えるよい学びになりました。

魔法の布

谷田 順子

今、二年生は国語の学習で「ふろしきは、どんなぬの」という学習をしています。最近、家庭でも風呂敷を見る子どもが少なくなり、見たことのない子どもたちもたくさんいました。

子どもたちに風呂敷について聞いてみると、「おじいさん、おばあさんが使うもの」「泥棒が使うもの」という答え。家に帰って、お家の人に聞いてくるように宿題を出すと、実にいろいろな使い方が出てきました。

学校でも、スイカの代わりにボールを包んだり、ビンの代わりにペットボトルを包んだりしたりしました。本当にいろいろな形や大きさのものを包んで運ぶことができます。ランドセルの代わりに、自分の学習道具も包んでみました。お弁当のように包む子、肩からかけるように包む子、背中から負うように包む子、風呂敷の大きさによっても様々な包み方ができます。改めて、「魔法の布」風呂敷のすばらしさを感じることができた一日でした。

次の日、水着を風呂敷に包んで持ってきている子どもが二人。何ともほほえましい光景でした。



